

### 職域・団体 バレーボール大会 3月7日

優勝 勤労協  
準優勝 役場C

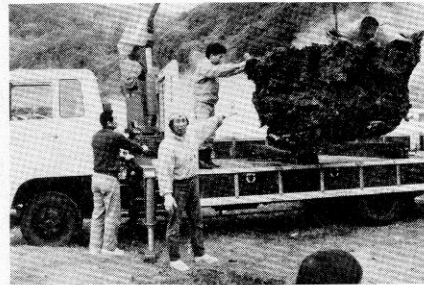
参加十一チームがA、B、C、の三ブロックに分れてリーグ戦を行い、決勝トーナメントに勤労協、役場C、役場D、日置中学校、郵便局チームが進出し、それぞれ熱戦が展開され、勤労チームが優勝しました。



## 拾い集めたゴミで芸術作品

二位ノ浜

三月十五日(日)、二位ノ浜において、浜辺に流れついたゴミを集めて芸術作品をつくる「ゴミ拾いをアートするイベント」が開催されました。これは、長門市の芸術家、殿敷侃(ただし)さん(四五歳)が「ゴミを拾い集めて制作に参加し、現在社会からでるゴミについて考えてもらいたい。」と企画したもの。当日は町内をはじめ約六十名が参加。



できあがった作品と殿敷さん(中央)

朝十時から、海岸に打ちあげられた、空き缶やプラスチック、発泡スチロール、ビニール、木片など大量のゴミを参加者全員で拾い集めた。午后より、砂浜に掘った大きな穴にゴミを入れて点火。約三時間かけて燃した後、水をかけて冷やして、クレインで吊り上げると、巨大な作品ができあがった。どんな作品ができるのか興味しんしんの参加者も吊り上げられた作品を見て一斉に拍手。殿敷さんは「作品を通じて全国の人にもゴミについて考えてもらう活動を続けていきたい。」とのことでした。

次に、殿敷さんよりメッセージが届いたので次に掲載します。

三月十五日の「ゴミ拾いをアートするイベント」は、大成功の中に終わりました。町長さんを始め多くの人の協力と参加を得て私が思っていた以上に盛大なものとなり、マスコミ関係者だけでも二十数名もきていただき、報道(全国放送、四回)もされました。私の作品づくりは勿論、大成功でしたが、二位ノ浜はきれいになるし、思いがけない楽しさも味わってもらえることも出来たようです。このイベントが新しいニュースとして、何か町づくりに役立てばうれしいです。

ありがとうございます。

殿敷 侃



平山 政子

先日、ある本で「現在は人が見えない時代と云える。」と云う記事を見ました。人が見えないとはどう云うことなのか、くりかえし読んでみると、それは自分自身が満ち足りていれば他人はどうなってもよい。どうなるかと無関心でいる者が多くなつた。と云うことのようにです。

日置町でも婦人会に対する意識が薄らいできたように思われます。しかし青少年の健全育成、高齢化問題。健康づくり、明るい町づくり、その他どれをとってみても婦人とのかわりは大きく、一人でも多くの婦人の参加が望まれるのです。さて昭和五十九年八月から三年間、日置町が貯蓄推進一般地区に、黄波戸地区が貯蓄推進実践地区にそれぞれ県から指定を受けました。貯蓄と云えばまず、金銭のことが頭に浮びますが、人生八十年時代を迎えた現在の社会では唯お金だけの貯蓄ではありません。生き甲斐のある人生を送るためには若い時から計画をたて勿論貯蓄をすることは必要です。

また、生涯充実した人生にするには学習への積極的なかわりをもち、努力したいものです。さらに健康が最大の幸せであることは云うまでもありません。健康に過ごすため特に大切な食生活は主婦として充分気をつけたいものです。また豊かな老後を迎えるために数多くの人のふれあいが欲しいものです。金銭の貯蓄、知識の貯蓄、健康の貯蓄、人間関係の貯蓄、この四つの貯蓄をバランスよく心掛け、一人でも多くの婦人の参加で明るく住みよいふるさとづくりを、皆で日置町の発展に努



婦人週間(4月10日~16日)

力しようではありませんか。

終りになりましたが、一昨年秋、町内皆様方から御芳志をいただきました山口県婦人文化会館がこの三月竣工の運びとなりました。厚く御礼申し上げます。県下の女性の幅広い研修の場として大いに役立つよう願っています。